

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2013年12月号



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

「YMCAが教えてくれたこと」

吉崎 昂 (盛岡YMCAベスト・キッズOB)

私と盛岡YMCAとの関係は15年近いものである。小学校1年生の頃に松園サッカー教室に通うようになったのをはじめに、ベスト・キッズやユースチームの活動にも参加して、沢山の友人と共にサッカーのみならず様々な出来事を経験した。小学校後半から中学校卒業までにかけては本当にサッカー漬けの日々で、松園サッカー教室とベスト・キッズやユースチーム、部活動での練習や大会に関わる事が当時の私の記憶の殆どを占めている。練習のない日も友人たちと集まってサッカーばかりしていた事も楽しかった記憶の一つである。

それでは、何故私はここまでサッカーにのめり込むことになったのだろうか。私は、これは濱塚リーダーや眞太郎リーダーをはじめとしたYMCAのスタッフや沢山の学生リーダーの方々のおかげであると確信している。彼らは私達にサッカーそのものだけでなく、挨拶などの礼儀やサッカーをする時以外にも大切となるような考え方も教えてくれた。私が教わった沢山の物事や言葉の中でも特に印象に残っているのは、「ふざけると楽しむのは違う」という言葉である。初めてこの言葉を聞いた時に小学生低学年であった私はその意味を理解することが出来なかったが、何度もリーダー達が口にしてきたため、サッカー教室での練習時にはいつも頭の片隅にこの言葉が浮かんでいた。その後ベスト・キッズの練習に参加するようになると、次第にこの言葉が意味するところを理解することができるようになっていった。練習は決して楽なものではな

かったものの、皆でレベルアップを目指して懸命に取り組むことがとても楽しく感じられたのである。この時、努力をすることでふざけている時と比べ物にならないほどの大きな喜びを得ることができるという事は私は理解することが出来たのだ。このことに気づくことができたおかげで、私の中でサッカーは「本当に楽しいもの」と変化した。その結果、「サッカー馬鹿」と言われるほど明けても暮れても友人達とサッカーをするようになったのではないかと考えられる。

現在私は大学生となり、主に天文学と宇宙科学について学んでいるが、当時教わったこの言葉の重要性を改めて感じさせられることが多い。これらの分野は未知の領域が大半を占めており、研究の際には一つのことを根気強く取り組む(のめり込む)姿勢を求められる。しかし、サッカーの時と同様に、必死になって勉強を続けることでその中に楽しさを感じることができるようになるのではないかと私は考える。大学の教授も何度かこれに似た事を口にするところがあるが、私はYMCAでの活動を通じてこれを知り、自分なりに解釈することができた。他にもここには書ききれないほどの大切なことを数多く教えてくれたYMCAでサッカーをすることができたことに感謝すると同時に、お世話になったスタッフやリーダーの方々にもこの場を借りて感謝したい。

11月アドベンチャー 『YMCA探検隊出動！』

～この土地を手に入れるのは…オレだ！オレだ！オレだ！オレだ！～

こんにちは！いつも全力疾走の大王ですよ（*^_^*）最近はめっきり寒くなってきましたね～。皆さん風邪は引いてませんか？

さてさて！11月17日のアドベンチャーは、『この土地を手に入れるのは誰だ！オレだ！オレだ！オレだ！オレだ！』ということで、子どもたち14人とリーダー7人、そしてスタッフ1人の総勢22人で滝沢森林公園に行ってきました。アイーナに集まったときから子どもたちもリーダーも元気いっぱい！！うきうきわくわくしながらバスに乗って、歌をうたいながらレッツゴー★午前中、まずはグループに分かれておおその道しか描いていない真っ白な地図を抱えて公園内を探索（開拓）しました！ここにはこんなおっきい葉っぱがあったよ！とか、きれいなセミの脱け殻があったよ！というような発見をどんどん白地図に描いていったよ～♪リスと遭遇したり、試練を乗り越えたり、無人島を発見したり!!、いろんな発見をしながら地図を完成させました！3つのグループそれぞれが、秋の自然のものを発見して地図に貼ったり描いたり…。お昼ごはん

をもりもり食べたあと、グループごとに発表しました♪みんなは自分のグループ以外の地図に興味津々☆そしてどのグループも自分たちの探索（開拓）の成果をちょっと自慢げに発表していました(^_^)みんながしっかり開拓してくれたのでその証として住民票を交付しました！そしてみんなのでその町を「しぜんカモメY町」と名付けました。

午後はみんなで開拓して手に入れた土地でたくさん遊びました♪女の子はみんなでかくれんぼをして遊びました！男の子は釣りをしている子もいました！いっぱい遊んだあとは、バスに乗って再びアイーナへ…。元気に解散式をしてさようなら～★

今月のアドベンチャーはみんなで大くさん自然を見つけて、触れ合うことができました！普段気にも留めないようなものが新鮮な発見になっていたと思います。またみんなといろんな活動でお会いしましょー！！

岩手県立大学看護学部一年 村上かんな（だいくリーダー）



← ひろった落ち葉や石に顔を書いてみたよ！

一刀両断！！
さあ、かかってこい！！ ↓



実は…
この落ち葉の中にリーダーがいるのだ！！

こんな地図ができました！ →



11月サンデースクール 『万華鏡づくり』



11月10日(日)に、本町ぶらいむ・たいむにて、サンデースクールが行われました。今回のサンデースクールは「万華鏡を作ろう」ということで、子ども7人、リーダー5人で行われました。今回は作り方を提示せず、自分達であらかじめ出来上がっていた万華鏡を分解し、そこからどんな材料がどのように使われているかを見て、みんなで協力して見よう見まねで万華鏡を作っていました。

分解し始めると友達と協力しながら、「これも分解できるんじゃない？」と声を掛け合いながらはさみを使ったり、他の道具を使ったりしながら万華鏡を分解していきました。

分解し終わるとどんな材料がどのくらい使われていたか教えてくれる子や、材料をみんなに渡してくれる子など、みんなで協力しながら進めていました。組み立てていく中で自分が発見した組み立てやすい方法を他の子に伝えたり、自分の万華鏡が早くできるとまだできていない子と一緒に組み立てたりと協力して作っていました。万華鏡を組み立て終わると、子どもたち同士で見せ合って、感想を言い合っていました。

子どもたちの作品はとてもユーモアあふれる作品ばかりでした。その中でも万華鏡を2つ作り、昼と夜を表現したり、万華鏡に名前を付けたりとリーダーたちも驚かされるものばかりでした。短い時間でしたが、子ども達が一生懸命にチャレンジしている姿を見るのができてよかったです。

次回は少し日程が空いて2月にサンデースクールが行われます。次回もたくさん笑顔が見れることを楽しみにしています。



文責：第一学院高等学校 専攻科1年 澤野 俊理(メニコンリーダー)

少年サッカー新人大会 フットサル大会・盛岡予選

10月27日(日)、バーモントカップ第23回全日本少年フットサル大会岩手県大会盛岡予選が渋民総合体育館他で行われました。盛岡YMCAからもベストキッズが15人参加してきました。

フットサルの練習をなかなかしていない中で大会参加ということで、サッカーとのルールの違いに戸惑ってしまう場面も見られました。しかし、試合を重ねていくうちにルールの違いやボールの違いに慣れてきて自分たちがやりたいことをやろうと始めることができました。やりたいことをやろうとし始めてもなかなか上手くいかず、何故うまくいかないのか、どうやったらうまくいくのかを子どもたちなりに話し合っていました。しかし、話し合いをするにあたって他人の意見を鵜呑みにしてばかりで、意見が対立する場面が見られませんでした。そのことに気づき、自分たちの未熟さを痛感していました。チームのために走りまわりたいと思ってもサボってしまう。自分への甘さがあるというのを感じ、悔しい思いをしている選手も多かったです。

今大会で6年生がほぼ全ての公式試合を終了となりました。今まで積み上げてきたものを今後のサッカーで活かしていけるようリーダー・選手共に頑張っていきます！

盛岡大学児童教育学科2年 向平 悟 (ジーバンリーダー)



＝ 宮古 震災から3回目の冬 ＝

急に冷え込み、宮古の紅葉を楽しむ間もなく冬がやって来そうです。雪の季節の前にボランティアセンターに草刈りの依頼が重なってやってきました。雪の積もらぬうちに何とかしなければという心配が、急な冷え込みで一気に依頼として出てきたのでしょうか。その私が見慣れてしまっていた荒地も、生活の場であった人たちにとっては違って映っていたということです。建物が無くなっても自分の土地を大切にされている気持ちを感じました。宮古で活動を始め、2年目を過ごしていますが、見えない・感じられない「声」ばかりです。宮古にいる「時」が長くなるからこそ鈍くなることもある。このことを肝に銘じなければいけません。

被災した町では「時」の意味は「復興」とともに「風化」との闘いでもあります。風化とは全国の記憶から被災地が薄れていくだけではなく、防災意識の点でもそうです。先日、ボランティアを連れて被災した田老観光ホテルの視察に行きました。忙しいにもかかわらず、いつも社長さんは親切に案内して下さいます。アポ無しでもYMCAの姿を見つくと「にこっ！」として手招きをしてくださいます。何十回となく案内して下さり、恐縮しっぱなしでした。今回ほろっと「どうしたら、もっとみんなに広げられるかな…。」と漏らされました。風化を危惧しつつも全国に災害への警鐘（明治以来4回目の巨大津波、被害を増やしたのは防災意識の風化）を鳴らし続ける強い思いでした。親切な案内に恐縮してばかりだった私が、社長の本当の気持ちにふれ、自分の浅はかさや社長の深い思いに気づかされました。心に響く共感の一言でありました。「ゆっくり、ゆっくりでしょう…。」「そうだね、急いでもその時だけだからね…。」あの時の社長の見たことのない、深い表情でした。

「時」に気づき、意味を探るのは人間だけであり、判断や洞察力そして希望も「時」の上に成り立っています。その人間の能力及ばない「時」の力を省みつつ、「思い」は「時」を越えられるのではないか。この1カ月で「時」について考えさせられました。

宮古ボランティアセンター長 木田 泰之



Y M C A 主事研修の
みなさん。
店舗が流された跡地の
草刈り作業 ←



↑ ビフォア



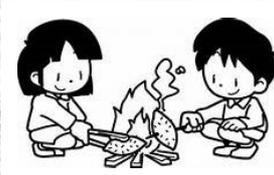
↑ アフター



依頼者の思いを汲み、
根からしっかりと抜く。
丁寧であれば膨大な作業
量であり、復興支援のあ
り様を連想させる。 ←

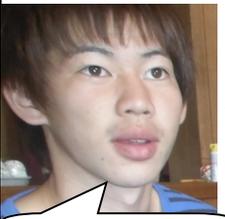


11月アドベンチャー 「焼きいも」 (宮古市田代)



☆ リーダー紹介 ☆ その⑬

今回のリーダー紹介は、前回だいくリーダーに紹介された「ますおリーダー」がしてくれます…お★(笑)



ぼくがますおです!

前回紹介にあずかった食いしん坊のますおです!最近少しおながでできたのもっと運動しなければと意気込んでいます!

そんなますおこと、盛岡大学1年の東海林俊一(とうかいりん しゅんいち)が今回紹介するリーダーは、小菅友輔(こすが ゆうすけ)ことわらびリーダーです!我らYMCAが誇る山菜コンビの片割れです!彼は盛岡大学栄養学部1年A組に所属しており、栄養士の卵として日々精進しています!

そして、得意料理は卵焼きと豚キムチです!彼の家に行くとき毎回ごちそうしてくれます。絶品です!

彼はYMCAのなかで、ある野望をもっています。それは、YMCAで一番の人気者になることです☆彼は子供たちが好きで好きでしようがないようで、本町はもちろん向中野の学童へ行って子供たちと遊んだり、向中野のサッカースクールにも行っています!そして、毎月のアドベンチャーやサンデーなど多くの行事に積極的に参加し、子供たちと少しでも多く関われるように幅広い活動をしています。

また、彼の一番の魅力は、向上心の高さです。たくさん行事に参加

している彼は子供はもちろんです、たくさんリーダーとも関わっています。その中で「あのリーダーこういうところがすごいよな。」と他のリーダーの良い所をたくさん発見しています。彼と話していると「あのリーダーってそんなところあったんだ」と気づかされる所がたくさんありました。そして、彼はそんな他のリーダーの良い所をどんどん自分のものにして努力しています。そして、こんなにも向上心が高い彼がいれば、周りも影響を受けると思っています。現にぼくはわらびに負けてられないと自分も頑張らなければ!と闘志を燃やしています(笑)



オレがわらびだ!!!



他にも書きたいことはたくさんあるのですが、今回はこのへんにおきたいと思っています。彼のこれからの進化に、そして、彼がこれからYMCAにさらにいい影響を与えてくれることに期待して今回のリーダー紹介を終わります。

以上!ダイエット中のますおからでした!ありがとうございました。

文責 盛岡大学社会学部1年 東海林 俊一(ますおリーダー)

「クルンきゅうしゅつ大さくせん」④

作:佐々木 拓実(ふらいむ・たいむ本町校) 桜城小2年

「あっ！」
いそいでそこにいきましたが、クルンはもうおちていくとちゅうです。

シャボンクッション！！

もうすぐじゅんげんにげきとつするところでシャボンクッションが出て、クルンはなんとかぶじでした。

「だいじょうぶ？」
「うん。たすけてくれて、ありがとう。」
「どういたしまして。」
「どうしてここがわかったの？」
「そのかみにかいてあったんだよ。」
「そうなの」

そのあと、二人はいっしょにいっぱいあそんで、おうちにかえりましたとき。

～めでたしめでたし～



～街頭募金報告～

盛岡YMCAでは2013年11月23日に大通りを中心に街頭募金活動を行いました。当日、協力してくださったボランティアの皆さん、そして募金にご協力いただいたたくさんの方々のおかげで今回の街頭募金では21万9013円の募金を集めることができました。街頭募金で集まった募金は、フィリピン台風30号被災地支援にあてさせていただきます。皆さまのご理解ご協力、誠にありがとうございます。

盛岡YMCAでは引き続き国際協力募金という形で海外への支援のための募金を募っていきます。

多くの方のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。
(小川)



～表紙の写真より～



11月17日(日)、滝沢森林公園でのアドベンチャー活動の1枚。このグループはセミの抜け殻を神様として崇めています。各グループの個性がよくでたアドベンチャーでした。(家村)

第2回盛岡YMCA チャンピオンズカップ

～盛岡YMCAサッカースクールの頂点に立つのはどこだ！？～

2013年11月3日岩手県立大学グラウンドにて第2回盛岡YMCAチャンピオンズカップが開催されました！昨年同様、選手・リーダー合わせて100人を超える大会となり、多少の雨天の中、同日に行われていた高校サッカー選手権大会に負けず元気良くサッカーをしていました！

昨年度に行われた第1回大会を経験した選手たちは前回大会が終わってから各サッカースクールでこの大会に向け練習を積んできました。各サッカースクールでの雰囲気や特徴など色々なところが現れていました。大会方法としては午前・午後とリーグ戦を行い、その順位によって午後の途中からはトーナメント戦をして熱い戦いをしました！

普段自分たちのスクール内での試合がほとんどな状態である中、他のスクールの選手たちと試合ということでそれぞれが高いモチベーションで臨んでおり、他のスクールのいいところを感じて向上心に火がついている姿も見られました。

勝って本気で喜び、負けて本当に悔しがり涙を流すシーンもありました。前回大会に負けずとも劣らない白熱した大会になりました！
今回嬉しい思いをした選手、悔しい思いをした選手全ての選手にとって今後のサッカーをしていく上でのきっかけになったと思います！

来年度行われるであろう第3回大会にも期待が持てるいい大会となりました！

文責：盛岡大学児童教育学科2年 向平 悟 (ジーパンリーダー)



12・1月予定

- ★12月1日(日)10:00~12:00
キャンプ説明会①
(於：アイーナ5Fミテイング・ルーム)
 - ★12月8日(日)14:00~16:00
キャンプ説明会②
(於：アイーナ6F団体活動室)
 - ★12月14日(土) 15:00~17:00
キッズクリスマス (於：内丸教会)
 - ★12月26日(木)~29日(日)
エンジョイスキーキャンプ
(於：八幡平リゾートスキー場)
 - ★12月27日(金)~29日(日)
ジュニアスキーキャンプ
(於：八幡平リゾートスキー場)
 - ☆1月11日(土)~13日(月)
宮古スキーキャンプ
 - ☆1月19日(日)
1月アドベンチャー
「日帰りスキー①」
(於：八幡平リゾートスキー場)
 - ☆1月19日(日)
1月アドベンチャー
「日帰りスキー②」
(於：八幡平リゾートスキー場)
- 盛岡YMCA休館日
12月30日(月) ~1月3日(金)

●寄付金

花田 瞳、佐藤 翔、高瀬 稔彦、杉田 弘美、古和田 周吾、及川 茂夫、及川 貴一、戸 貞文、早坂 春希、伊藤 克見、清水 弘一、吉崎 陽、川守 田浩、中屋 重正、今松 桂子、増田 隆、水田 賢次、石渡 隆司、今野 健男、今野 聖子、濱塚 有史、濱塚 真美、重石 桂司、井上 修三、伊藤 眞一郎、小山 憲彦、菊地 弘生、光永 尚生、池 上 正、魚住 英昭、学校法人カナン学園、原 寛、越前 谷洋子

●維持会費

花田 暁、角谷 晋次、角谷 千代子、山澤 美和、松尾 聡子、石崎 一之、池田 二郎、佐藤 翔、高瀬 稔彦、杉田 弘美、長岡 正彦、名古屋 恒彦、熊谷 力實、大関 靖二、熊谷 太、古和田 周吾、及川 茂夫、及川 貴一、戸 貞文、早坂 春希、伊藤 克見、鬼柳 忠彦、濱塚 れい子、清水 弘一、谷藤 敏多、吉崎 陽、重石 桂司、川守 田浩、伊藤 直子、田村 治之、北田 アユ子、熊谷 一郎、岩崎 スエ、岩崎 スエ、今松 桂子、斎藤 稜太、桑原 良幸、増田 隆、佐藤 淳史、佐々木 多恵、守下 昌輝、水田 賢次、石渡 隆司、今野 健男、今野 聖子、菊地 弘生、清水 治彦、濱塚 有史、濱塚 真美、濱塚 忠太、花松 行雄、長谷川 精一、井上 修三、井上 優子、井上 浩太郎、島岡 孝匡、伊藤 眞一郎、小山 憲彦、小畑 孝子、菊地 弘生、光永 尚生、池 上 正、ロン・クローラン、グレイス・レディ、千葉 洋子、鶴丹 谷 三千代、原 寛、越前 谷洋子

●東日本大震災被災地支援募金 献品

南原 良哉、林 間 つきみ野教会、味噌 菓子、飯 靖子、日本アライストユニオン、茨城 Y M C A、宮古市魚菜市場青年部、菊池 崇江、林 間 つきみ野教会、大阪 Y M C A、松尾 台幼稚園、木下 恵合子、六甲学院、伊藤 眞一郎、ワイズメンズクラブ 東日本区、北東部、ワイズメンズクラブ 西日本区、横浜 Y M C A 東とつか保育園

●三十周年記念史賛助会員

長岡 正彦、竹内 一真、水野 雄二、田村 浩之、伊藤 眞一郎、岩崎 スエ、雲丹 谷 三千代、今松 桂子、森山 日菜乃、南原 良哉(株)盛岡ユニホーム、盛岡ドライビングスクール、井上 修三、井上 優子、宮崎 幸雄、濱塚 有史、阿部 靖、倉石 晃、岩手トヨタ、ベント盛岡支店、神谷 幸男、水田 賢次、諏訪 治男、名古屋 恒彦、山本 常雄、吉崎 陽、工藤 泰、中原 真澄、加藤 明宏、伊藤 克見、小林 茂元、和歌山 Y M C A、北田 アユ子、角谷 晋次、大関 靖二、三田 弘子、伊藤 洋子、伊藤 光、伊藤 恵嗣、伊藤 雄基、吉田 ひろ子、石崎 一之、石崎 稜、朴 正浩、山本 英志、花田 瞳、千葉 代子、佐藤 翔、吉本 貞一郎、木下 恵合子、及川 忠人、及川 茂夫、大和田 崇江、菊池 崇江、小畑 孝子、飯島 隆輔、孤淵 光彦、熊谷 太、越前 谷洋子、清水 弘一、池田 勝一、深澤 秀男、古澤 伸、濱塚 有史、花松 行雄、守下 昌輝、重石 桂司、長谷川 精一、人見 弘弘(株)シンエイシステム、柴田 路子、高瀬 稔彦、横倉 純、光永 尚生、石渡 隆司

感謝

2013年年度 順不同・敬称略